

製品名: プロトカドヘリン-11 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab16535

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	PCDH11X/PCDH11Y PCDH11Y; PCDH11; PCDH22; PCDHY; Protocadherin-11 Y-linked; Protocadherin-11;
別名	Protocadherin on the Y chromosome; PCDH-Y; Protocadherin prostate cancer; Protocadherin-PC; Protocadherin-22; PCDH11X; KIAA1326; PCDH11; PCDHX; Protocadherin-11 X-
遺伝子 ID	83259/27328
SwissProt ID	Q9BZA8/Q9BZA7
免疫原	抗血清はヒト PCDH-X/Y 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 531-580

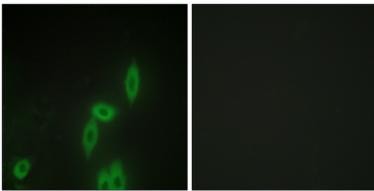
背景

この遺伝子は、カドヘリンスーパーファミリーのサブファミリーであるプロトカドヘリンファミリーに属します。コードされているタンパク質は、7つのカドヘリンリピートを含む細胞外ドメイン、膜貫通ドメイン、そして古典的カドヘリンとは異なる細胞質テールから構成されています。この遺伝子はY染色体上のX/Y相同ブロックに位置し、X染色体上のパラログと非常に密接に関連しています。このタンパク質は、中枢神経系の発達における細胞間認識に関与していると考えられています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2013年7月]、代替製品: 追加のアイソフォームが存在するようです、疾患: PCDH11Yに関連する染色体異常は、尿管膀胱接合部欠損を伴う重度の両側性膀胱尿管逆流症 (VUR) など、複数の先天異常の原因となります。ROBO2 との転座 t(Y;3)(p11;p12)。, 機能: カルシウム依存性細胞接着タンパク質の候補。、類似性: 7つのカドヘリンドメインを含む。、サブユニット: CTNNB1 と相互作用する。、組織特異性: 胎児脳および脳 (皮質、扁桃体、視床、黒質、海馬、尾状核、脳梁) で強く発現。精巣では低レベルで発現。アポトーシス抵抗性細胞で発現。、

研究分野

神経科学、細胞接着タンパク質、膜タンパク質、シグナル伝達、細胞骨格/ECM、細胞接着、カドヘリン

画像データ



PCDH-X/Y 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。